

一時救命措置（心肺蘇生とAED）（倒れている人がいたら…）

[AEDはあなたにも簡単に使えます]

AED（自動体外式除細動器）は、心室細動などの不整脈に対し、心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す医療機器です。

電源を入れると音声で操作方法を案内してくれるので、どなたでも簡単に使えます。

[AEDを使って生存率アップ!]

心肺停止状態になってから除細動を開始するまでの時間が1分遅れるごとに、生存率は7~10%低下します。

救急車が到着するまでに全国平均で10.3分（2022年）かかるので、居合わせた人がAEDを含めた救命措置を行うことで、生存率は確実にアップします！

[倒れている人を見かけたら、どうしたらいいのでしょうか?]

その場に居合わせた人たちが行う、一次救命処置（心肺蘇生とAED）の流れは次のとおりです。

① 反応の確認

肩を軽くたたきながら呼びかけます。反応がなければ次へ。



② 119番通報とAEDの手配

大きな声で応援を呼び、119番通報とAEDの手配を依頼します。



③ 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て呼吸の確認をします（10秒以内）。呼吸がないか、死戦期呼吸（しゃくり上げるような不規則な呼吸）が見られる場合はただちに胸骨圧迫を開始します。

※呼吸をしているかどうか分からない場合にも胸骨圧迫を開始します。



④ 胸骨圧迫

胸の真ん中を約5cm、1分間に100～120回のテンポで強く押します。

（人工呼吸を行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を30：2の比で行います。）



⑤ AED到着

AEDが到着したら、ただちに電源を入れます。



⑥ パッドを装着

パッドに描かれている絵の位置に装着します。



⑦ 解析と電気ショック

AEDが心電図の解析を行います。

ショックが必要と判断されたら、ショックボタンを押して電気ショックを実行します。

※解析中やショック実行時は、倒れている人に触れないこと。

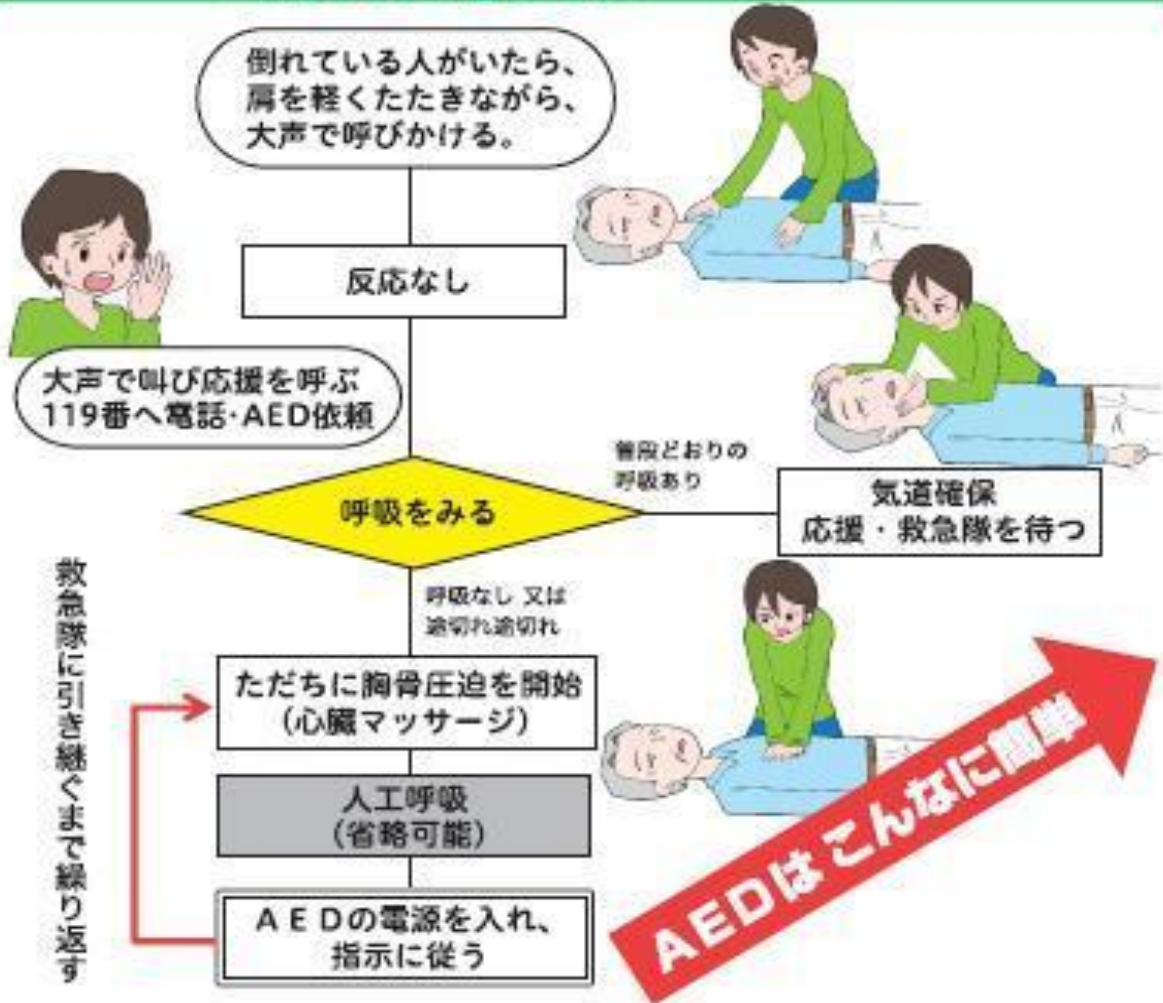


⑧ 胸骨圧迫

胸骨圧迫を再開します。

（人工呼吸を行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を30：2の比で行います。）
倒れている人に反応が現れるか、救急隊が到着するまで⑦、⑧を続けます。

こんな時には AED



埼玉県AEDマップのQRコード

スマートフォン、パソコンから、県内のAEDの設置場所を検索できます。

【届出件数】2,649台（平成19年8月1日開始時）→14,592台（令和6年3月末現在）

偶然に心停止者を発見した場合は、お近くのAEDを速やかに検索することができます。

普段から近くのAEDを確認しておき、いざというときに備えましょう。

イベント主催時は、事前にお近くのAEDを確認しておくとお安心です。

※使用可能な曜日・時間でも、必ずしも常時使用可能とは限りませんので、ご了解ください。

